



〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476 Tel 042-691-0011 (代表) Fax 042-691-8617 (共用) email: jimujsthe.org
◇編集・発行人 杏林大学 野口洋平 (学会広報委員会 email: noguchi@kyorin-u.net ◇学会 URL http://jsthe.org

News Letter 2012 No.3

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第 32 号 発行 2013 年 2 月 12 日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之、野口洋平

【日本観光ホスピタリティ教育学会 第 12 回全国大会のご案内 (最終)】

かねてよりお伝えしておりますとおり、日本観光ホスピタリティ教育学会では、「観光ホスピタリティにおける主体的・継続的学び」をテーマに、2013 年 3 月 2 日 (土)、3 日 (日) の 2 日間にわたって、立教大学新座キャンパスにおいて第 12 回全国大会を開催いたします。

基調講演では、文部科学省高等教育政策室長の田中聡明氏を招き、昨年 8 月に中央教育審議会より発表された「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」(答申)について詳しく解説していただきます。

続くシンポジウムでは、大学だけでなく高等学校での取り組みも視野にいれながら議論します。今大会では、基調講演とシンポジウムを一般の方にも無料で公開することに致しました。この機会に、学会員以外の皆さまもお誘い合わせの上ご参加ください。

また、初日には、立教大学新座図書館に今年度開設されたラーニング・コモンズの見学会も企画しました。参加を希望される方は、6 をご参照下さい。

なお、1 月末にお届けした「全国大会申込書」(はがき)の返送がお済みでない方は、手続きをお願いします。

第 12 回全国大会テーマ

“観光ホスピタリティ教育における
主体的・継続的学び”

1. 開催日：2013 年 3 月 2 日 (土)、3 日 (日)
2. 会 場：立教大学 新座キャンパス
〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26
<http://www.rikkyo.ac.jp>

3. 日 程

<3 月 2 日 (土)>

- 10:30～11:45 理事会 (8 号館 N841 教室)
11:30～14:05 ラーニング・コモンズ 見学受付 (8 号館 1 階*)
～12:40 ラーニング・コモンズ 見学 (立教大学新座図書館)
12:30～ 受付 (8 号館 1 階*)
13:00～ 開会式 (N852 教室)
13:05～14:05 基調講演 (N852 教室)
「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」

田中 聡明 氏 (文部科学省 高等教育局

高等教育企画課高等教育政策室長)

14:15～16:00 シンポジウム (N852 教室)

「観光ホスピタリティ教育における主体的・継続的学び」

モデレーター 小畑力人氏 (追手門学院大学)

パネリスト 安島博幸氏 (立教大学)

吉田常行氏 (住吉商業高等学校)

宋戸学氏 (横浜商科大学)

16:30～18:00 研究発表・教育実践報告 (N852 教室)

【研究・教育実践論文】

1. 「訪日外客市場において通訳案内士が果たす役割に関する基礎的研究」 高井典子 (文教大学)

【教育実践報告】

1. 「大学教育への動機付けを目的とした高等学校選択授業のあり方について～法政大学女子高等学校「旅する人の観光学」教育実践報告～」 高嶋竜平 (法政大学女子高等学校)

2. 「観光系学生の強みを生かした調査事業」海老澤昭郎 (長崎国際大学)

18:00*～ 懇親会 (こかげ [4 号館 1 階 学生食堂])

<3 月 3 日 (日)>

9:20～ 受付 (8 号館 1 階*)

9:30～10:30 ワークショップ話題提供 (N852 教室)

「電子メディアを活用した教授法」中村哲氏 (玉川大学)

「インターンシップと学生の倫理」小野田金司氏 (神戸夙川学院大学)

10:40～12:10 ワークショップ (N841～844 教室)

第 1 会場「観光ホスピタリティ教育における主体的・継続的学び」(N841)

第 2 会場「ボランティア・ツーリズムの実践」(N842)

第 3 会場「電子メディアを活用した教授法」(N843)

第 4 会場「インターンシップと学生の倫理」(N844)

12:10～13:10 休憩

13:10～14:10 ワークショップ報告 (N852 教室)

14:10～14:15 閉会式 (N852 教室)

※ 両日とも N853 教室*にて学校案内や観光ホスピタリティ教育に関連する各種パンフレットを展示いたします。

※ 希望者を対象に、立教大学新座図書館ラーニング・コモンズの見学を実施します。詳細は 6 をご覧いただき、必ず事前にお申し込みください。

※ プログラム内容・時間・教室等は変更する場合があります。ご了承下さい。なお、* は 1 月末に送付した大会案内より変更した項目です。

4. 大会参加費等

<大会参加費>

正会員、一般：2,000 円 準会員：1,000 円

<懇親会費>

正会員、一般：4,000 円 準会員：3,000 円

<弁当代> 3/3 (日) 昼食 1,000 円 (飲み物付)

<研究発表・教育実践報告費> 5,000 円

※ 基調講演とシンポジウムに限り、一般向けに無料公開致します。(要事前申し込み)

お支払いは、大会当日に受付でお願いします。なお、当日のキャンセルについては、キャンセル料を後日請求させていただくことがありますことをご了承ください。

5. 参加申込手続き

学会員の皆様は、1 月末に郵送した大会案内同封のがきに必要事項をご記入の上、大会実行委員会事務局 (川村学園女子大学 丹治朋子) まで郵送して下さい。

※ 参加申込締切 2013 年 2 月 15 日 (金)

学会員以外 (一般) で参加を希望される方は、①氏名、②ご所属、③連絡先 (電話、email 等)、④参加希望プログラム (ワークショップについては参加人数多数の場合は聴講のみとなる場合があります) を明記の上、件名を大会参加希望として、2 月 26 日 (火) までに、メールまたは FAX にて大会実行委員会事務局 (下記 7 参照) までお申し込みください。

6. ラーニング・コモンズ見学について

12:00-12:40 に立教大学新座図書館のラーニング・コモンズ見学を実施します。参加希望の方は、下記の要領で事前申し込みの上、当日は 11:30～11:45 のあいだに 8 号館 1 階の受付にお越しください。遅れての参加はできませんのでご了承ください。

参加希望者は、①氏名、②ご所属、③連絡先 (電話、email 等) を明記の上、件名をラーニング・コモンズ見学希望とした上で、2 月 26 日までに、メールまたは FAX にて大会実行委員会事務局 (下記 7 参照) までお申し込みください。

7. 全国大会実行委員会事務局連絡先

川村学園女子大学 観光文化学科丹治研究室 気付

日本観光ホスピタリティ教育学会 丹治朋子宛

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸 1133

電話：04-7183-6421 (研究室直通、FAX 兼用)

e-mail：taikai@jsthe.org

なお、研究室は不在がちのため、電子メールでのお問い合わせが確実です。お電話の場合は留守番電話にご用件と連絡先をお願いします。

8. その他

(1) パンフレット等展示について

期間中、N853 教室を学校案内や観光ホスピタリティ教育に関連する各種パンフレット、資料等の展示スペース、交流の場として開放いたします。

昨年まで配布を前提として複数部をご用意いただきましたが、諸般の事情により、展示をご希望の場合には原則的に閲覧用に 1 部を当日お持ち込みいただく形でご協力をお願いいたします。また、終了時点の残部に

については実行委員会が処分致しますことをご了承ください。なお、残部をお引取りいただけるようでしたら、パンフレット類の「配布」も承ります。

(2) ワークショップについて

ワークショップ参加予定の方は、テーマに関わらず、話題提供からご出席ください。なお、参加希望者数が 5 名未満のテーマは催行を見合わせます。催行予定については、2 月 25 日に学会ウェブサイトに掲載します。

【理事会報告】

<2012 年度 第 5 回定例理事会>

(1) 日 時 2013 年 1 月 26 日 (土) 13:00~15:00

(2) 場 所 東海大学代々木校舎 4 号館 4413 教室

(3) 参加者 村上会長、益山副会長、浅岡理事、海老澤理事、小槻理事、舘野理事、丹治理事、中村理事、吉田理事、野口幹事、鈴木幹事 以上 11 名 (委任状 2 通)

(4) 議 題

1) 退会審査

退会希望者 (正会員) 2 名を承認した。

渡辺公章 (大阪国際大学)

近藤寛和 (宿屋大学)

※承認後の会員数は 166 名 (正会員 154 名、準会員 9 名、特別会員 1 団体、名誉会員 2 名) です。

2) 第 12 回全国大会について

2013 年 3 月 2 日 (土)・3 日 (日) に立教大学新座キャンパスにて開催予定の第 12 回全国大会の準備状況について報告が行われた。

3) 2013 年度総会について

2013 (平成 25) 年度総会は、2013 年 6 月 8 日 (土) に実施することを前提に調整・準備することが決まりました。テーマなどについては継続審議となった。

4) 編集委員会報告

機関誌第 7 号編集の進捗状況および編集委員会の活動状況について報告が行われた。

5) その他

来年度の総会までに評議員会を開催することが提案され、今後、日程などの調整を行うことについて承認を得た。

▽次回理事会は、2013 年 3 月 2 日 (土) 立教大学新座キャンパス 8 号館 N841 教室にて 10:30 より開催予定。

【編集委員会報告】

機関誌「日本観光ホスピタリティ教育」第7号 投稿原稿の募集

機関誌第7号の投稿原稿（論文・研究ノート・教育実践報告）の募集をしております。投稿される方は、2013年3月31日（日）[消印有効]までに、「投稿申込書」1部、ならびに「審査用原稿」3部をご投函下さい。送付先は下記の通りです。

〒192-8508 東京都八王子市宮下町476 杏林大学外国語学部気付
日本観光ホスピタリティ教育学会 機関誌編集委員会 宛

本件についてのお問い合わせ：編集委員会事務局 益山代利子（松本大学）yoriko.masuyama@matsu.ac.jp

【研究会報告】

2013年1月26日（土）、東海大学代々木校舎にて、今年度第2回研究会が実施され、12名の参加がありました。

テーマは「観光ホスピタリティ教育におけるサービス・ラーニング」とし、丹治朋子氏（川村学園女子大学）が報告及びモデレーターを担当しました。

サービス・ラーニングとは、「教室で学ばれた学問的な知識を、地域社会の諸課題を解決するために組織された社会的活動に生かすことを通して、市民的責任や社会的役割を感じ取ってもらうことを目的とした教育法」と定義されます。（筑波大学ウェブサイトより）

アメリカでスタートしたこの取り組みは、日本では2000年頃を境に増加傾向にあります。地域でのボランティア活動はその前から多く見られましたが、学びとの連続性についての議論はあまりなされてきませんでした。また、類似する活動にフィールドワークがありますが、結果が地域にフィードバックされ、有効に活用されることに主眼をおくものではありませんでした。サービス・ラーニングの主な特徴は、学びとの連続性、地域への貢献（必ずしも隣接しなくてもよい）と、学生の主体的経験と振り返りにあります。

報告では、歴史的経緯、サービス・ラーニングの定義、効用、課題を整理し、観光ホスピタリティ教育での実践事例について紹介しました。観光ホスピタリティ領域の教育内容と、地域の諸課題との接点は非常に多く、学際的な学びを実践する格好の素材であることが確認されました。

しかし、学生のモチベーションの維持や、コミュニティとの関係作り、教員の負担など課題も多く提示されました。

ディスカッションでは、各大学の取り組みの内容や悩みの共有がなされ、学生の力量や学科の特徴、キャンパスの立地などによって取り組み内容が異なること、支援体制が不可欠であることなどが提示されました。このテーマは、今後のワークショップテーマとして取り上げたいという意見が多く出されました。

【観光学・観光教育に関する動向】

立教大学・新座図書館「しおり」(ラーニング・コモンズ) オープン (情報提供: 立教大学 村上和夫)

2012 年 4 月、立教大学新座キャンパスにある新座図書館 2 階にラーニング・コモンズ「しおり」がオープンしました。

ラーニング・コモンズは、アメリカやイギリスで登場し、近年わが国でも大学を中心に注目され導入が進んでいる施設で、主に図書館内に設置されるケースが多いのが特徴です。コモンズ=共有スペースにおける、教師によるティーチングではなく学生によるラーニングというより主体的な学びの場です。問題解決型の学習(PBL)にも適した施設としても注目されています。

「しおり」は、さまざまな学習スタイルに対応するために、「グループエリア」「グループ学習室 1～4」「多目的スタジオ」という設備等が異なる 3 つのエリアから構成されています。可動式テーブルと椅子、ホワイトボード・大型ディスプレイ・AV 機器等を備えており、PC 貸出も行っています。平日午後にはラーニング・アドバイザーがレポートや論文作成の相談に応じています。また、ペットボトルや水筒などの「ふた付き容器の飲み物」が持ち込みが可能です。

なお、この「しおり」は学内公募により決定した名称で、本や図書館をイメージしやすく「案内書」といった意味があり、『知の森(学習・図書館)』のサポート(案内)ができる場所として親しみを持ってもらえるようにと選ばれました(立教大学ウェブサイトより)。

<参考サイト>

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/institution/niiza/facilities/learningcommons/index.html>

【書籍紹介】

山上 徹 編著

『ホスピタリティ・ビジネスの人材育成』

(白桃書房、2012 年、180p)

ISBN-13: 978-4561255987 定価 2,000 円

本書は、ホスピタリティ・ビジネスにおける人材育成に焦点をあて、XY 理論、ジョハリの窓、守破離思想などの理論や思想を軸に考察を加えている。コーチング理論にも触れ、医療、観光まちづくり、ホテル、航空業など現場での取り組みやを課題にも言及している。編著者は本学会元会長。

情報提供: 丹治朋子(川村学園女子大学)

東北学院大学経営学部おもてなし研究チーム

『おもてなしの経営学』(実践編)・(理論編)

(ともに創成社、2012 年、258 ページ)

ISBN-13: 978-4794423979、978-4794423993 ともに定価 1,680 円

本書は、同大の地域連携プロジェクトとして行われた講座の内容をもとに、旅館経営をめぐって「おもてなし」をキーワードに理論と実践、震災という視点でまとめた 3 部作の 1 部と 2 部。老舗旅館の女将が語るサービスの神髄から学術的考察、地域振興、危機管理までの幅広い内容について、同大経営学部の教員が分析を加えている。

情報提供: 編集人

会報では、会員の皆様から提供された観光ホスピタリティ教育の情報及び書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から 2 年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。ご協力をお願い申し上げます。

E-Mail: noguchi@kyorin-u.net FAX: 042-691-8617 (共用) 野口洋平(杏林大学)